

今週のことば「一粒の麦」

《聖書》ヨハネによる福音書 12:20-33

「一粒の麦が地に落ちて死ねば、多く  
の実を結ぶ」という言葉は、教会の歴史  
の中で、イエスのあがないの死を意味す  
るものとして受けとめられてきました。  
しかし、それは一つの解釈であり、必ず  
しも皆が同じように解釈する必要もあり  
ません。

聖書の中で、「あがない」という言葉  
がよく使われているのは、エジプト脱出  
についての箇所です。エジプト脱出は、  
契約と深く結びついています。『わたし  
は主である。わたしはエジプトの重労働  
の下からあなたたちを導き出し、奴隷の  
身分から救い出す。腕を伸ばし、大いな  
る審判によってあなたたちをあがなう。  
そして、わたしはあなたたちをわたしの  
民とし、わたしはあなたたちの神となる』  
(出エジプト6:6-7)。

聖書の中で使われている「あがない」  
は、解放の意味で使われています。身代  
金を払って奴隷を買戻すという一般的  
な意味では、奴隷はあくまでも受け身の  
状態です。契約ですから解放される人も  
呼びかけに答えなければなりません。

イエスの死は、神がイエスの死におい  
て、人々を奴隷の状態から解放すること  
を意味しています。これは、今まで人々  
が自らのうちにある神の力に気がつかな  
い、何らかの力を他に求めようとして  
いた状態からの解放を示しています。

もし、私たちがイエスの死に直面して、  
目覚めないなら、イエスの死は無駄にな  
ってしまいます。弟子たちがイエスを見  
捨てて逃げ去ったままであったのなら、  
弟子たちにとってイエスの死は、ただ挫  
折と失望をもたらすだけの出来事で終わ  
っていたでしょう。

イエスの死は、弟子たちに死を恐れな  
い勇気と、自分の力で物事を解決してい  
こうとする行動力を与えました。弟子た  
ちはイエスの死後、いろんな所へ出かけ  
て行って、イエスの福音を人々に伝えて  
いきました。

私たちも弟子たちと同じように、神が  
何かをしてくださることだけを求めない  
で、自分でできることを積極的に実行し  
ていくことが必要なのです。そうすれば、  
一粒の麦であったイエスから多くの実を  
みのらせることができるのです。

四旬節第5主日B年 (滝野)